

【質疑】監査委員の意見開陳の中で、「三位一体の財政改革に伴って、地方交付税をはじめ、公共事業費の削減は、依存財源に負うところが高い当市にとっては、今後の財政運営への影響が強く懸念される」との指摘があったが、どのように受けとめているか伺いたい。

【答弁】地方交付税については、新しい算定方法が検討されているとも聞くが、今後どのように変化していくのか、注目をしているところである。

また、地方経済を左右する公共事業について、本市にあっては、沖の沢郡山線、公共下水道事業が、平成22年度の終了を見込んでいる。越河地区の農集排事業は来年度で終了の予定であり、その後の継続的な大型公共事業は、現在のところ予定されていない。

これからは、ハードからソフトへと大きく転換をしていく時期ではないかと、受けとめている。しかし、このことが当市の財政運営に大きく影響することは必ずであるので、今後の財政運営については、

中・長期的に見て、ソフト型のまちづくりを市民の皆さんとともにしっかりと受けとめて、慎重な財政運営をしていかなければならないと考えている。



工事の進む 沖の沢郡山線

【質疑】家庭相談室の相談状況のうち、家族関係の虐待が、昨年度に引き続き大変高い数値を示している。幼児虐待・老人虐待等も報道されているが、どのような種類の虐待の問題を取り扱い、それに対して、どのような対応策をとったか伺いたい。

また、環境福祉についての相談とは、どのような内容なのか、併せて伺いたい。

【答弁】家庭相談室の状況については、虐待の取り扱い件数が増えている。一昨年は20件だったが、5件ほど増えている。これは親子関係の調整で、子供への暴力が非常に増えている。

このことから、施設入所という措置があるが、これも非常に関連する部分であり、どうしても家庭に置くと子供に危険性が及ぶということもあつた関係上、児童相談所に一時保護してもらつたケースもあつた。

この施設入所が平成17年度は6件あり、元旦にも措置をするようなこともあつた。環境福祉については、養育をめぐる問題で、アルコール依存症患者の養育放棄を取り扱つた。



平成17年度 一般会計・特別会計決算の状況

〔単位：千円〕

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	14,825,008	14,291,833	533,175
特別会計	12,900,409	12,586,096	314,313
国民健康保険	3,642,400	3,540,916	101,484
下水道事業	1,638,202	1,628,552	9,650
地方卸売市場事業	9,298	1,928	7,370
老人保健	4,573,723	4,560,995	12,728
農業集落排水事業	720,035	688,526	31,509
介護保険	2,316,751	2,165,179	151,572
合計	27,725,417	26,877,929	847,488

平成17年度 企業会計決算の収支状況

〔消費税相当額を含む〕〔単位：千円〕

会計名	収益的収入	収益的支出	差引損益
水道事業	986,765	952,224	34,541

【質疑】スパッシュランド大吊橋について、階段が非常に多く、障害者や高齢者には非常に使いにくいと感じるが、スロープ等は検討しなかったのか伺いたい。



スパッシュランド大吊橋